

ひびき

教育目標：「なかよく かしこく たくましく」

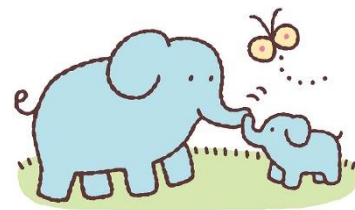
～ 夢と自信と思いやり ～

多治見市立共栄小学校 R3. 6. 1

その子に合った教育を

無事に生まれてきてくれた我が子、でも健康に育ってくれるのかな、と心配になるのが親心です。「少し様子が変わ・・・!?」と不安になることはありませんか。また、学校での様子が気になることはありませんか。

- 人見知りが強い
- 同じ年くらいの子と遊べない 関心がない
- 集団行動が苦手な一人遊びが得意
- 思いつくと急に行動する
- 意味のない声を出す
- じっとしてられない
- かんしゃくを起こすことが多い
- 会話のキャッチボールが難しい
- 言葉が遅れている
- 好きなことには何時間でも熱中するがはじめてのことや決まり事の変更は苦手
- 新しい場所や人に接するのをとてもいやがる
- 気に入らないと手が出る
- 読む・書く・計算する・話すなど特定の学習が難しい



上の項目が当てはまるからと言って必ず発達障がい〔自閉スペクトラム、注意欠陥・多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）、チック症等〕であるとは言い切れません。成長がゆっくりのペースの子かもしれないし、一人遊びが好きだけかもしれません。心配であれば、病院や学校に相談されることをおすすめします。もし発達障がいと判断された場合でも、早めに療育することで、成長とともにスムーズに社会生活を送れるようになることがあります。親にとって、子育ては人生最大のプロジェクトですが、チームで向かうことで、子どもは益々健やかに伸び伸びと成長できます。気になること、心配なことがあれば、是非、気軽にご相談ください。

【親育ちコーナー】 「子どもが決める・子どもと決める」ということから

教育相談室

教育相談室が対応する電話相談や面談相談は、お子様の登校しぶりや、学業不振、友だち関係のこじれ等、多岐に渡ります。ここ最近増えてきたことは「ネット機器の扱い方」です。ネット機器は、依存性が強かったり、扱い方によっては加害者にもなったりする心配があります。

保護者としては目を光らせているのですが、心配が尽きない…どうしたらよいか？という話を多く聞きます。そのような相談の中で、

① 子どもと相談の上、約束事の決定権を子どもに与え、決めさせる。

② 保護者は子どもが決めたことを守ったら認める。

ことを提案したことがあります。例えば、夜の保管場所やメール等のやりとりの確認についての約束です。子ども自身に主体をおきますが、子どもと一緒に管理をしていくということです。この2点を試してみた家庭から、後日「子どもとの会話が増え、怒ることも減りました。」とお返しの電話をいただいたことがありました。すぐに全てが解決するわけではありませんが、親子の良好な関係を築く一助にもなったようです。

あれもこれも保護者がルールを敷くのではなく、少しずつ子どもを自立させていく手段の一つとして、まずは、ネット機器の利用の仕方から試してみませんか？